

一般質問



まえかわ 文博 議員

報酬や費用弁償の見直しは？

①各種委員の報酬が少ない。特に選挙立会人は最低賃金割れの時給666円。②自家用車利用の費用弁償（交通費）の見直しは？

答弁 ①基本となる日額を現在の6,000円から12,000円に引き上げる方向で検討。投票立会人の報酬は日額12,000円から12,400円へ。②燃料代への費用弁償として1kmあたり20円、さらに車両の減価償却分の一部弁償として1kmあたり20円を上乗せし、合計で40円とする。

神岡のショートステイ事業について？

①神岡地区でのショートステイについて、市としてどのように受け入れ態勢を整えていくのかが重要。飛騨市の考えは？

答弁 ①ショートステイは平成27年の開設以降、

会議録はこちらから▶



概ね2,000万円以上の赤字が続いている。これが主な原因となって法人全体の経営が悪化している。直近5年間では、旭ヶ丘ショートステイ単独で年間約3,300万円の赤字、特養と合わせると約4,000万円の赤字。市としてはまず受け入れ先の調整支援、緊急支援として古川や富山方面への移送に介護タクシーなどを利用した場合の支援を検討している。

緊急銃猟と森づくり構想について？

①緊急銃猟に対応するハンターと訓練は？②森づくり構想の方向性は？

答弁 ①緊急銃猟研修会と実地訓練を実施。緊急銃猟に対応するハンターは、鳥獣被害対策実施隊員88名の中から選出し協力を依頼。②基本理念は「多種共存の森」。主伐・再造林を進める森林、間伐を繰り返す人工林の針広混交林化や天然林の大径木化、また集落周辺の森林整備を進めていく方針。この方針はクマの人里への誘因を減らし、長期的な出没抑制につながる。

[YouTube ▶](#)



おがさわら 美保子 議員

クマ出没に対する地域体制について

市民の安心安全のために継続的な対策と取り組みを①クマ対策と制度について②地域の環境整備と予防対策について③通学路における安全対策について④学校現場の対応策について

答弁 ①②人の生活圏にクマを誘引しない環境を作るため放任果樹の伐採費用の補助制度がある。個体数の増加が原因であり捕獲・駆除で適切な管理が重要。猟友会と調整し捕獲期間の延長の検討と対策の基本を徹底する。銃猟免許取得の支援制度や研修・訓練の支援で人材確保を進める。③各学校の教職員・保護者で見回りを実施している。クマが出没した地域では学校から自宅前までスクールバスで送迎対応している。④河合町や宮川町、山之村地区では出没や被害に留意している。

河合小学校裏には侵入を防ぐ柵の設置、山之村小中学校では市有林内の刈払い、鉄柵の設置し直しなど対策を行った。

サイバーセキュリティ対策について

ICT活用が広がる中、安全確保が非常に重要な①学校のICTのセキュリティについて②防災・防犯システムのセキュリティについて③市役所のシステム管理・体制について④外部委託先の情報漏えい対策について

答弁 ①ファイアウォールの設置、アカウントとパスワードの厳格な管理を行っている。②防犯カメラは全てスタンドアローンで管理しネットワークに接続していない。ガイドラインも定めている。③国の推奨するセキュリティモデルの機関業務、一般行政業務、インターネット業務を完全3層分離したαモデルを採用している。④飛騨市セキュリティ対策基準に規定し委託業者も遵守するよう定めている。

[YouTube ▶](#)





◀ 会議録はこちらから

一般質問



すみだ きよみ
住田 清美 議員

マイクロワークについて

①取り組みについて②働いて

もらい方改革について③超短時間雇用について

答弁 ①市内企業への浸透が必要である。②県補助金や市独自のメニューもあり、組み合わせて活用いただきたい。③「ふらっとジャストフィット就労」と名付けた柔軟な支援を始めている。

不登校児の対応について

①状況について②出席の定義について③居場所づくりについて④学校作業療法士との関わりについて

答弁 ①100名程度の児童生徒について毎月各校と情報を共有し、継続的な支援を行っている。②グリーンルームや市外のフリースクールについては、出席状況や活動の様子を確認しながら積極的

に出席扱いとしたい。ハルジオンについては、今後可否を判断していく。③公設のフリースクールは検討していない。④支援を必要とする児童生徒を早期に作業療法士につなぎ、適切な支援を行っていく。

部活動の地域クラブ移行について

①平日の取り組みについて②指導者確保について③移動方法について

答弁 ①令和8年4月からは、平日、休日ともに地域クラブとしての活動に移行する。②部活動の外部指導者や兼職兼業を申請した教員等により確保できている。今後も人材バンクの運用を進めたい。③現在、合同で活動する場合はスクールバスの運行や公共交通路線バス乗車券の発行並びに保護者が送迎をした場合は移動費の補助をするなど負担軽減を行っている。4月以降も継続の予定である。

[YouTube ▶](#)



こみやま えみこ
籠山 恵美子 議員

職員の兼業許可制度と市民への影響について

①兼業の職種全面解禁に問題はないか②「兼業が地域経済を圧迫しないこと」とは③兼業推進は、職員のワークライフバランスを捨てることにならないか

答弁 ①3つの基本原則「公務能率」「職務の公正」「職員の品位」が確保されれば兼業許可ができる。②地元の営業を圧迫しないよう、市独自に規則に定めたもので場合により許可の取り消しができる。③兼業は職員が自発的に申請するので、ノーワークデイなどをうまく活用できれば特に問題ないと考える。

市の医療・介護の抜本的見直しについて

①市民病院の病床削減で、将来の市民医療は守

れるか②介護保険第10期計画はどのように検討しているか③介護保険の地域支援事業を拡充すべき

答弁 ①飛騨市の医療を守るためにには、医療従事者の確保、病院間の役割分担と連携体制の構築が重要であり、これらの議論を本格的に進める必要がある。②③準備基金等は保険料負担軽減のために使用することを見込み、第10期計画で適正に活用し保険料を設定する。地域支援事業は認定未取得者にも市独自事業として実施可能である。

物価高騰での具体的な生活支援について

①いきいき券の拡充を②補聴器補助の拡充を③高校生のタブレット購入に助成を④中学生の給食費を無償に⑤水道基本料金の免除を

答弁 ①追加交付を予定。②上限5万円を検討。③実施しない。④市単独での実施はない。⑤物価高騰対策に盛り込む。

[YouTube ▶](#)





なかだ 利昭 議員

AIの進化に対する飛騨市の対応について

①行政事務の大規模AI化について②医療・介護分野AGIの統合について

答弁 ①職員数の制限の中、AI技術の活用は重要な課題であるが、数億円規模のシステム改修が必要になり現実的ではない。また、急速に進化するAIにロードマップを作るのは意味がない。②議事録の作成はすでにAIを活用しているが、現場では触れる場面が少ない。今後AIの基礎知識や技術を向上させるのが先決。

民間企業へのAGI導入支援について

①AGI導入支援補助金の創設について②民間向けAGI研修について

答弁 ①AGIの現状はまだ理論上の存在であり、現在の主流は特定のタスクに特化したAIである。

会議録はこちらから▶



平均的な利用料は、月額で数千円から数万円程度であり、十分事業所の経費で対応できるものと考えており補助金導入は現時点では考えていない。今後、汎用的な知能を持ちビジネスや社会に革命的変化をもたらすと期待されているAGIが主流になり、コスト面がはっきりしたところで検討する。②AGIを対象とした研修は行っていないが、AIについては各団体向けにセミナーや体験会等を開催している。こんごもAGIを含めてニーズが高まり次第スピード感をもって対応したい。

AGI総合計画策定について

①AGIを前提とした未来都市モデルは

答弁 ①AGIは、まだ技術、法制度、倫理などに関しては流動的である。過度な先行投資や特定ベンダーの固定化はリスクも伴うので大規模に行うより小さく生んで、早く学び、成果を素早く吸収するような方向で行きたい。まずは職員が使って体験することである。 [YouTube▶](#)



もり 森 要 議員

農業振興地域整備計画の基礎調査について

今年度上町地区から調査を始めると聞いていた。調査の進捗状況と見えてきた課題は。

答弁 県内でも実績のある調査会社と5月に委託契約し、現行の農業振興地域整備計画書、農地基本台帳、土地課税台帳、土地利用計画図などを照らし合わせて、古川町地区の基礎調査をすすめている。見えてきた課題は、本来であれば農用地区域として位置づけることが適当と考えられる農地が、白地となっている箇所が確認されたほか、逆に農地として継続性や集団性が十分でない、いわゆる点在のうちが農用地区域に含まれているケースがあるなど、いくつかの課題が明らかになったところである。これらの現状は、将来の営農環境の維持や農地の保全を考える上で計画の妥当性や実

効性に影響を及ぼすものであることから、今回の基礎調査の結果を踏まえ、農用地区域の線引きの適正化を図る必要があると考える。

地域営農構想の策定について

令和6年12月議会で、地域営農システム構築の必要性を述べ、7年度よりこの構想の策定をしている。構想策定の過程から見えてきた課題は。

答弁 今年度は古川町の策定を目標に、1ha以上の水田を耕作している農業者へのアンケートや意見聴取を進めている。高齢化と、後継者問題の不安、農業機械の導入の問題等構造的・地域的課題が明らかになってきている。土地改良事業による農地の規模拡大と集約化の推進、農業機械共有化や共同作業体制の構築支援、意欲ある担い手の育成・確保、地域全体で営農を支える協働体制の整備等を構想の方向性として整理し、今年度中の策定に向けて取りまとめを行う。


[YouTube▶](#)



◀ 会議録はこちらから

一般質問



の むら かつのり
野村 勝憲 議員

待った無しのクマ対策は

10、11月に石破前総理、赤澤経産大臣、経産省と愛知県他10自治体2企業訪問。得た知見を参考に①下呂市はクマ対策本部を設け2回の会議を経て、獣友会に2時間2万円支給等緊急対応。飛騨市も獣友会、警察、区長会等とクマ対策本部設置を。②高山市はクマよけ鈴を小中学生に3,600個と希望する高校生に配布。飛騨市も子供達の安全の為、クマよけ鈴を購入し貸与すべき。③里山周辺の黒内果樹園や未真、街中に近い宮城町や古川駅東にもクマが出没。匂いで誘因する本庁舎裏庭の蜂蜜、金森町猫の店、瀬戸川の鯉等地域にクマが近づかない対策が必要。

答弁 ①現時点では常設の対策本部の設置は考えず、獣友会、警察、区長会等との連携強化を図る。②必要な地域で鈴をつけ登校している。③地域の要望には応え、速やかに対応する。

観光地の現状と今後の観光振興について

都竹市政「観光」を1丁目1番地に10年。その成果出ず旅館や飲食店の廃業が続く。高山、下呂、白川は「人と金」の取り込みに成功し稼ぐ観光地となり格差拡大。①今後稼ぐ観光地にする振興策は。②宿泊税高山4億円下呂2億円、白川駐車料金倍増し数億円が年間の観光振興費、市は何を財源に。③北飛騨の暮らし文化を体験する修学旅行の誘致を。

答弁 ①地域の魅力を発展させ、持続可能な観光地に。②国・県の補助金とふるさと納税。③修学旅行を受け入れる事業者には支援していく。

薬草の商品開発とブランド化について

私は視察した宇陀市の薬草事業をヒントに化粧品会社他、飛騨市の薬草入り商品開発を提案。市の薬草事業として産業化の実現は。

答弁 まずは小さな一つ一つの事業を積み上げていく。

[YouTube ▶](#)



じょう が ふき とよたか
上ヶ吹 豊孝 議員

山田湖の治水と下流域の安全について

線状降水帯が発生した場合、山田湖の貯水能力は大丈夫か、また下流の神岡町内の山田川沿いの被害が出ないか心配である。

①ダム湖内の堆砂除去は②ダム湖内の雑木除去を③山田川下流域の安全確保は

答弁 ①毎年1回の点検を実施、堆砂量の状況把握を実施している。堆砂量は6年前とほぼ同様の数値であり、現在のところ問題はないが、日常の巡視をもとに適正な維持管理に努める②令和3年度に伐採を行い、現在の所ダム機能を妨害するものではない③古川土木事務所では、堆積土砂や雑木処理について定期的にパトロールを実施し地元区からの要望などで現場管理を行い、毎年河川堤防の点検を実施し、異常があれば補修等の検討を行う。

神岡町ショートステイ休止について

旭ヶ丘ショートステイが来年3月末で休止する。地域の介護を支えてきた重要なサービスであり、利用者や家族に大きな不安を与えている。

①空床型サービス移行問題は②ショートステイ移行計画は③団塊世代の対応は④説明会での意見は

答弁 ①神岡地区で新たなショートステイ事業は人材確保が困難で、特養老人ホームたんぽぽ苑で空床を利用することになる②1月に4床、2月に6床と段階的にショートステイ用のベッドを確保。一時的に特養の入所が難しくなる可能性がある。③全国的には2040年に要介護認定者がピークと言われているが、飛騨市内では既にピークは過ぎているので大きな問題は無い。しかし、医療・介護スタッフ確保は引き続き対策を講じる④4月以降の在宅生活に不安を感じている声や山之村地区への送迎、食事介助は従来通り対応可能との事。

[YouTube ▶](#)





みづかみ まさひろ
水上 雅廣 議員

畜産農家支援について

現状分析も踏まえ、飼料価格の高騰や導入資金の貸し済りなどに対する支援を講じることができないか。

答弁 導入資金については、市の「肉用繁殖雌牛導入基金」の返済方法を5年目一括返済から4年分割返済に変更することや、粗飼料購入支援を重点的に実施することが必要であると考えている。

物価高騰対策について

重点支援地方交付金について、国は推奨メニューを提示しているが、現時点で飛騨市としてどのような対策を検討されているのか。

答弁 「水道基本料金の減免」と「いきいき券の追加配布」を行いたい。「全市民にごみ袋を配布」「子供版いきいき券」についても検討している。また

別枠措置の食料費高騰対策は、地域電子通貨「さるぽぽコイン」を活用したポイント還元が有効と考えている。産業支援については、省力化とか生産性向上につながる設備投資、地域産業の維持に資する支援を中心に、賃上げ環境の整備と整合性の取れた施策にしたい。1月中に臨時議会を招集し補正予算を上程したい。

指定管理施設等の今後について

施設の用途変更や廃止、民間譲渡など、施設の今後の在り方を検討する協議機関が必要ではないか。

答弁 来年度から市民の代表10名程度を委員とする検討委員会を設置したい。各施設の現状や課題、背景にある要素、そうしたものを共有して丁寧に手順を踏む必要があると考えている。



YouTube▶

臨時会の概要

第1回臨時会を1月21日に開催し、次の3案件について審議し原案のとおり可決しました。
本会議、委員会審査での質疑応答の主なものは次のとおりです。

● 損害賠償に関すること

● 議案第1号 損害賠償の額の決定について

市所有のロータリー除雪車による車両等損傷事故における損害賠償額の決定について議決を求めるもの

Q 市側と相手方の過失割合が50対50なのは妥当なのか

A ドライブレコーダー等の調査結果から、双方に過失があり判例に基づいて過失割合を認定した

● 予算に関すること

令和7年度 補正予算

● 議案第2号 令和7年度飛騨市一般会計補正予算（補正第4号）

国の補正予算等に伴う物価高騰対応に係る補正

3億6,673万9千円を増額、補正後の予算額226億3,606万8千円

● 議案第3号 令和7年度飛騨市水道事業会計補正予算（補正第2号）

国の補正予算等に伴う物価高騰対応に係る補正

収益的収入の1,100万円を増額、補正後の予算額5億7,125万9千円

Q ゴミ袋の無料配布は極小サイズを使用している人もみえるので、極小サイズも選択として追加できないか

A 調整して追加させてもらう

Q 市内事業者への設備投資の支援（上限50万円）はどれくらいの規模を想定しているのか

A 中小企業のヒアリングにより数社から要望もあり、予算額2,000万円を計上した